

令和3年度

香美町総合戦略 事業評価・検証シート

兵庫県香美町

重要業績評価指標(KPI)進捗管理一覽

令和3年度 第2期香美町総合戦略 成果指標、重要業績評価指標（KPI）

■基本目標 I 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
R3実績	5人（累計 13人）

◆重要業績評価指標（KPI）に対する達成状況及び評価について

■KPIが計画期間中（6年間）の累計である数値目標の場合
令和2年度から当該年度末までの累計に対する達成状況を算定し評価を行う。

■KPIが単年度の成果である数値目標の場合
当該年度末での実績に対する達成状況を算定し評価を行う。

◎：当該年度末において達成済 ○：令和7年度末での達成が見込める
△：令和7年度末での達成が困難 ー：事業未実施または事業の実施状況により実績の把握が不可など

数値目標	基準値	重要業績評価指標（KPI）	所管	当該年度末実績	令和2年度から当該年度末までの累計	重要業績評価指標に対する達成状況及び自己評価		今後の取り組み方針
						達成状況（%）	評価	
実質化したプラン※ （※①アンケートの実施②地図を作成し耕作状況の見える化③集落みんなの話し合い）	0組織 [H30年度]	15 組織 [R7年度]	農林水産課	5組織	-	33.3%	△	法改正(令和4年5月)により、人・農地プランから地域の話し合いで将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を策定することとなったため、実現化に向けて協議する。
農地中間管理事業取扱面積	11.3ha [H30年度]	70.0 ha [R7年度]	農林水産課	56.20ha	-	80.3%	○	今後も引き続き、地域計画の策定と合わせて事業の推進に取り組む。
集落営農組織数	13組織 [H30年度]	15 組織 [R7年度]	農林水産課	11組織	-	73.3%	△	集落内農家の高齢化で集落営農組織の存続が危ぶまれていることから、集落営農の組織化・法人化も視野に入れた支援策を拡大していく。
認定農業者数	42人 [H30年度]	45 人 [R7年度]	農林水産課	41人	-	91.1%	○	畜産、果樹、水稲において認定新規就農者から認定農業者へ移行できるよう支援を継続する。
「ものづくり」6次産業化取組件数 ※1	1件 [H30年度]	12 件 [6年間の累計]	観光商工課	0件	4件	33.3%	△	制度の周知を図り、意欲的な事業者を発掘する。
起業・創業支援件数 ※2	2件 [H30年度]	12 件 [6年間の累計]	観光商工課	3件	6件	50.0%	○	補助制度の見直しを行う。
観光入込客数 ※3	132.5万人 [H30年度]	165 万人 [R7年度]	観光商工課	75.6万人	-	45.8%	△	各施策の充実を図る。
うち宿泊者数	36.8万人 [H30年度]	42.6 万人 [R7年度]	観光商工課	23.2万人	-	54.5%	△	各施策の充実を図る。

※1 ものづくり支援事業補助金利用件数
 ※2 起業・創業支援事業補助金利用件数
 ※3 観光動態調査より算出

令和3年度 第2期香美町総合戦略 成果指標、重要業績評価指標（KPI）

■基本目標Ⅱ 香美町への新しい人の流れをつくる

数値目標	若い世帯の新たな移住 6年間(2020年度-2025年度の累計)で90世帯
R3実績	10世帯（累計 16世帯）

◆重要業績評価指標（KPI）に対する達成状況及び評価について

■KPIが計画期間中（6年間）の累計である数値目標の場合

令和2年度から当該年度末までの累計に対する達成状況を算定し評価を行う。

■KPIが単年度の成果である数値目標の場合

当該年度末での実績に対する達成状況を算定し評価を行う。

◎：当該年度末において達成済

○：令和7年度末での達成が見込める

△：令和7年度末での達成が困難

—：事業未実施または事業の実施状況により実績の把握が不可など

数値目標	基準値	重要業績評価指標(KPI)	所管	当該年度末実績	令和2年度 から当該年度末 までの累計	重要業績評価指標に対する達成状況及び自己評価		今後の取り組み方針
						達成状況(%)	評価	
人口増減数に対する社会増減数が占める割合※1	47.90% [3カ年平均] (H28-H30) (基準日:1月1日)	40% [R7年度]	企画課	62.70%	-	-	△	社会減を抑制するため、若い世代が町内に住み続けることができる環境づくりや、U・Iターン希望者や移住希望者が定住できる環境づくりを強化していく。
空き家利活用件数 ※2	10件 [H30年度]	84件 [6年間の累計]	企画課	26件	39件	46.6%	○	空き家専門部署の体制整備を行い、空き家の情報管理及び情報発信を強化することで、さらなる利活用につなぐ。
U・Iターン就職者数 ※3	8人 [3カ年平均] (H28年度-H30年度)	60人 [6年間の累計]	観光商工課	0人	0人	0.0%	△	今後、U・Iターン推進につながる具体的な施策に取り組む。
地域おこし協力隊の定住、起業件数	3人 (H28年度-H30年度)	6人 [6年間の累計]	企画課	0人	3人	50.0%	△	既に着任している隊員に定住・起業を促すとともに、任期終了後のビジョンが持てる協力隊員の配置に努める。

※1 「住民基本台帳人口・世帯数((公財)国土地理協会)掲載数値により算出

※2 空き家バンク登録物件の契約成立件数及び県補助金等の利用件数

※3 雇用奨励金等商工関連補助金交付企業等での就職者数

令和3年度 第2期香美町総合戦略 成果指標、重要業績評価指標（KPI）

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
R3実績	1,559人

◆重要業績評価指標（KPI）に対する達成状況及び評価について

■KPIが計画期間中（6年間）の累計である数値目標の場合
令和2年度から当該年度末までの累計に対する達成状況を算定し評価を行う。

■KPIが単年度の成果である数値目標の場合
当該年度末での実績に対する達成状況を算定し評価を行う。

◎：当該年度末において達成済 ○：令和7年度末での達成が見込める
△：令和7年度末での達成が困難 ー：事業未実施または事業の実施状況により実績の把握が不可など

数値目標	基準値	重要業績評価指標（KPI）	所管	当該年度末実績	平成27年度から当該年度末までの累計	重要業績評価指標に対する達成状況及び自己評価		今後の取り組み方針
						達成状況（%）	評価	
出生数	89人 [H30年度]	110人 [R7年度]	健康課	56人	-	50.9%	○	令和2年度に続き感染対策を継続しながら、子育て支援事業の充実を図る。
婚姻数	31組 [H30年度]	45組 [R7年度]	企画課	34組	-	75.5%	○	若者のニーズに合わせた出会いの場の創出、ライフデザインの構築支援を継続し、婚姻率の向上を図る。
ワーク・ライフ・バランス推進企業認定数	-	10事業所 [6年間の累計]	観光商工課	0事業所	0事業所	0.0%	△	ワークライフバランスに関するセミナーを実施し、普及啓発を行う。
子どものいる世帯のうち、第3子以上を養育する世帯の割合	20.3% [H30年度]	23.0% [R7年度]	健康課 こども教育課	19.00%	-	82.6%	△	引き続き、多子世帯に対する事業の検討を行い、経済的負担軽減の拡充を図る。
香美町で子育てをしたいと思う親の割合※	92.4% [H30年度] (県平均94.0%)	95.0% [R7年度]	健康課	87.00%	-	91.5%	○	子育てしたい町の姿を親や家族と共に考え、子育て支援事業に展開していく。

※1 乳幼児健康診査問診票の問診項目（健やか親子21健康水準の指標）により算出

令和3年度 第2期香美町総合戦略 成果指標、重要業績評価指標（KPI）

■基本目標Ⅳ 豊かな暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
R3 実績	0箇所（累計 1箇所）

◆重要業績評価指標（KPI）に対する達成状況及び評価について

■KPIが計画期間中（6年間）の累計である数値目標の場合

令和2年度から当該年度末までの累計に対する達成状況を算定し評価を行う。

■KPIが単年度の成果である数値目標の場合

当該年度末での実績に対する達成状況を算定し評価を行う。

◎：当該年度末において達成済

○：令和7年度末での達成が見込める

△：令和7年度末での達成が困難

—：事業未実施または事業の実施状況により実績の把握が不可など

数値目標	基準値	重要業績評価指標（KPI）	所管	当該年度末実績	令和2年度から 当該年度末 までの累計	重要業績評価指標に対する達成状況及び自己評価		今後の取り組み方針
						達成状況（%）	評価	
新しい地域コミュニティ組織数	-	6 箇所 [6年間の累計]	企画課	0箇所	1組織	16.7%	△	新しい地域コミュニティの設立準備に向けて、引き続き、地域住民との話し合い・啓発活動等の取組を強化するとともに、「射添地区まちづくり協議会」の安定した運営・活動が継続するよう支援する。
集落点検・集落計画策定件数	-	上記、地区内の集落	企画課	0件	0件	0.0%	△	設立した地域コミュニティ組織内の集落において、人口動向・地域活動・現状課題などを点検し、将来性を見据えた集落計画の策定を推進していく。

基本目標 I

香美町における安定した就労の場を創出する

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人					13人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			

■施策の柱1 地域産業の競争力強化（商工分野）

具体的な施策① 地域産業の育成・支援【継続】

<ul style="list-style-type: none"> 個々事業者の経営革新計画の作成支援 	-	新規事業の展開に向けた中期的な計画を作成することで、現状課題や今後の経営方針を明確にし、事業継続力の強化を図るため、計画書の作成に取り組む町内事業者に対し、支援を実施した。 ・ 経営革新計画策定支援 1件	商工会と連携し、意欲のある事業者が計画を作成することで経営力の強化に繋がるようセミナー等の開催を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 創業支援事業計画による起業・創業ワンストップ窓口の設置と総合的支援 	7 - 1 - 2 観光商工課	商工会に設置したワンストップ窓口での相談とあわせ、創業支援計画に基づくセミナーを開催した。 創業支援計画事業委託料 1,500 千円	補助制度や優遇制度を周知し、意欲のある方の発掘をする。
<ul style="list-style-type: none"> 多様な就業の場の確保と人材育成の推進 	7 - 1 - 2 観光商工課	町内事業所従業員の人材育成に関わる各種資格取得に対する支援を行った。 ・ 利用事業者 15 社 ・ 受講者数 延べ101 人 地域産業活性化人材育成支援事業補助金 844 千円	利用事業者数及び受講者数の増加を目指し、補助制度の普及啓発に努める。
<ul style="list-style-type: none"> 事業主の円滑な事業継承を進めるための事業承継セミナー、個別相談の実施 	7 - 1 - 2 観光商工課	セミナー及び個別相談による支援を行った結果、3名が起業した。 ・ 創業支援セミナー 4 回 9 名 ・ 個別相談 7 日間 9 名 事業承継推進事業委託料 1,500 千円	補助制度や優遇制度を周知し、意欲のある方の発掘をする。

■施策の柱2 地域産業の競争力強化（農林水産分野）

具体的な施策① 農林水産業の生産基盤の保全と地場産品の高付加価値化【拡充】

[農村空間の継承と高付加価値農産物の生産振興]

<ul style="list-style-type: none"> 農地中間管理事業による中心的経営体や担い手への農地の集積集約 	町単農業振興対策事業費 農地中間管理事業等推進事業費	農業者の減少、遊休農地の増加等を解消するため、地域全体で農地利用最適化の調整を進め、農地中間管理事業を通して農地を集積集約することにより、地域の中心的な担い手農業者を支援・育成した。 農地集積集約促進事業 1,098 千円 農地中間管理事業等推進事業費 996 千円	農業者の減少、遊休農地の増加等を解消するため、引き続き取り組む。
6 - 1 - 3 農林水産課			

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標 新規就労者数 6年間(2020年度-2025年度の累計)で70人

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人					13人

取組内容	事業名		事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針		
	予算区分	所管				
・非農家も含めた集落営農の推進、農業経営組織の法人化	6-1-3	農林水産課	町単農業振興対策事業費	法人化セミナーを開催し、認定農業者を中心に約30名が受講した。受講者の中から法人化に興味を示した農業者には、法人化相談会や先取視察を行い法人化への支援を行った。	持続的・安定的な農地保全に向け、引き続き法人化への支援に取り組む。	
・「人・農地プラン」の策定推進と大切な農地や農村文化を守る気風の醸成	6-1-3	農林水産課	人・農地問題解決推進事業費	28 千円	農業者の減少、遊休農地の増加等を解決するため「人・農地プラン」を作成し、地域全体で農地利用最適化の調整を進めた。	人・農地プランの制度が改正され、新たな地域計画を策定する必要が生じたが、全筆調査の実施など大きな課題が山積している。
・食味値等で評価の高い特A産地Sランクの「コシヒカリ」、高単価で取引される「美方大納言小豆」、二十世紀やなしおとめをはじめとした「香住梨」など、地域特産物の生産拡大	6-1-3	農林水産課	地域特産物販路拡大事業費	250 千円	町・県農業改良普及センター・JA等の関係団体が連携し、良食味米など地域特産物の生産拡大、PRを行い、農家所得向上を図った。	引き続き関係機関が連携し、特産物の生産拡大やPRに取り組み、農家所得の向上を図る。
・但馬牛の堆肥やカニ殻等の有機肥料、減農薬栽培による「有機の里」づくり	6-1-3	農林水産課	町単農業振興対策事業費	2,036 千円	牛ふん堆肥等の有機肥料による健康な土づくりを進め、農産物の高付加価値、環境にやさしい農業を推進を図った。	引き続き牛ふん堆肥等の有機肥料による健康な土づくりを進め、農産物の高付加価値、環境にやさしい農業を推進する。
[「美方郡産但馬牛」の増頭と更なるブランド化の推進]						
・優良肉用雌牛保留対策事業による優良系統牛の確保、維持	6-1-4	農林水産課	畜産振興対策事業	6,450 千円	“但馬牛の原産地”として増頭対策を積極的に推進し、農家の規模拡大を支援するとともに、優良牛の育種改良基盤の確立に努めた。	引き続き“但馬牛の原産地”として増頭対策を積極的に推進し、農家の規模拡大を支援するとともに、優良牛の育種改良基盤を確立する。
・若手農家の経営規模拡大支援、新規就農者の確保、異業種企業の参入、新たな生産拠点づくりによる増頭対策の推進	6-1-4	農林水産課	畜産振興対策事業	433 千円	中心的経営体となる若手畜産農家の規模拡大と新規就農者等の施設整備、繁殖雌牛導入に対し支援を行った。	引き続き酪農及び肉用牛生産の中心的経営体となる若手畜産農家の規模拡大と新規就農者等の施設整備、繁殖雌牛導入に対し支援を行う。
・広域的なふん尿処理対策及び耕畜連携、棚田放牧等の拡大	6-1-4	農林水産課	畜産振興対策事業		放牧と堆肥の利用については、耕畜連携が図られているが、広域的ふん尿処理について具体的な検討に至らなかった。	引き続き耕作放棄地を活用した放牧や堆肥を利用した有機栽培を推進する。また、広域的ふん尿処理対策について但馬内の市町、JA、県等の関係機関により検討を進める。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間(2020年度-2025年度の累計)で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人					13人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
[新たな森林経営管理と価値ある森林の育成]			
<ul style="list-style-type: none"> 森林環境税を活用した間伐等人工林の適正管理と「100年の森」づくり 	森林環境経営管理事業費	条件不利地間伐の推進、その他の森林整備を行った。 ・ 条件不利地間伐 49.79 ha ・ 沿道森林美化整備 3.00 ha 条件不利地間伐推進事業補助金 10,000 千円	森林環境譲与税を活用した適切な森林整備を継続する。
6 - 2 - 2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 木の駅プロジェクト等による森林資源を活用する気風の醸成 	森林環境経営管理事業費	森林資源や間伐材等を有効活用し、地域の活性化に繋げる「木の駅プロジェクト」の推進に取り組み、平成28年度の事業開始以後、出荷量等は順調に伸びている。 ・ 出荷量 754.7 t ・ グリーンチケット発券枚数 10,736 枚	周知活動を継続実施するとともに新規登録者の掘り起こし、出荷量の安定確保に努める。
6 - 2 - 2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 間伐材など未利用森林資源の有効活用 	森林環境経営管理事業費	事業未実施	新たな森林活用の方向性を整理し、地域産材を用いた公共施設の建築、木材加工事業の取組み等について検討する。
6 - 2 - 2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマスの利用拡大と公共施設等の木質化の推進 	森林環境経営管理事業費	チップ材加工については、香美町バイオマスセンターを拠点として安定的な運営ができていますが、公共施設における地域産材による木質化については実施できていない。	チップ材加工については継続して安定運営に努める。木質化については情報収集に努める。
6 - 2 - 2 農林水産課			
[日本海側随一の「水産のまち香住」の再興]			
<ul style="list-style-type: none"> 漁業関係施設や市場機能の再編・集約・整備の推進 	水産業振興事業費	水産物流通機能高度化個別施策の検討のため、香美町の水産を考える会の作業部会、柴山地区漁業者、兵庫県漁港課との協議を各1回行った。	水産物流通機能高度化個別施策の検討を進めるため、香住水産業振興協会との連携により先進地視察研究事業を実施する。
6 - 3 - 2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 資源管理に基づく漁獲量の確保と漁船、船員の確保 	水産業振興事業費	新規漁業就業者、外国人漁業実習生を激励することにより、漁業後継者の育成、担い手の確保につなげ、漁船、漁獲量の確保を図った。 消耗品費(新規漁業就業者激励記念品他) 66 千円	船主、漁協からも評価が高い激励会を引き続き行う。
6 - 3 - 2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 魚職普及の推進と「魚のまち」の誇りの回復 	水産業振興事業費	地元産の魚等を使用した料理教室の開催、学校給食や町内グループ等が行う調理実習等への魚食材料提供により、魚食普及や「魚のまち」再興を推進した。 賄材料費(魚色普及食材料費) 1,321 千円	とと条例の町として、「魚のまち」再興に向け引き続き魚食普及を推進する。
6 - 3 - 2 農林水産課			

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標 新規就労者数 6年間(2020年度-2025年度の累計)で70人

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人					13人

取組内容	事業名		事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
	予算区分	所管		
<ul style="list-style-type: none"> 高い技術力を誇る水産加工品のブランド化、高付加価値化と全国への販売展開 	6-3-2	農林水産課	水産物PR事業補助金 1,220千円	水産加工品のブランド化、全国への販売展開を引き続き行う。
	6-3-2	農林水産課	水産物PR事業補助金 1,220千円	水産加工品のブランド化、全国への販売展開を引き続き行う。
<ul style="list-style-type: none"> 清流を活かした内水面漁業の振興と観光分野との連携 	6-3-2	農林水産課	矢田川にアユ等の稚魚を放流することにより、漁獲量の確保と清流を守る意識の高揚、京阪神等町外からの釣り客の増加による観光面の振興など、町全体の活性化を図った。	産卵場の形成や放流稚魚の研究等を引き続き行う。
	6-3-2	農林水産課	矢田川等稚魚放流事業費補助金(1,100kg) 2,350千円	産卵場の形成や放流稚魚の研究等を引き続き行う。
具体的な施策② 多様な担い手の育成と後継者の確保【継続】				
<ul style="list-style-type: none"> 地域をあげた「人・農地プラン」策定の推進 	6-1-3	農林水産課	農業者(担い手)の減少、遊休農地の増加等を解消するため「人・農地プラン」を作成し、地域全体で農地の利用調整を進めた。	人・農地プランの制度が改正され、新たな地域計画を策定する必要があるため、課題となっている全筆調査の実施などについて、協議を進める。
	6-1-3	農林水産課	人・農地問題解決推進事業費 28千円	人・農地問題解決推進事業費 28千円
<ul style="list-style-type: none"> 集落営農の組織化、法人化と認定農業者の育成 	6-1-3	農林水産課	持続的・安定的な地域営農の確保にむけ、広域的な営農エリアを包括する農業生産法人等の組織化と大型農業機械機具導入に対する支援を行った。	持続的・安定的な農地保全に向け、引き続き大型農業機械機具導入と法人化への支援に取り組む。
	6-1-3	農林水産課	農業近代化施設整備事業補助金 14,756千円	農業近代化施設整備事業補助金 14,756千円
<ul style="list-style-type: none"> 「就農希望者セミナー」「U・Iターン相談会」等の開催による新規就農者の確保、異業種からの新規参入促進、2種兼業農家、定年帰農者等による人材の確保 	6-1-3	農林水産課	「人・農地プラン」に位置づけられる認定新規就農者の支援を行った。また、新たな就農者の確保、移住・定住促進のための就農相談会へ参加した。	新規就農者の確保のため、引き続き、相談会やセミナーに参加するとともに、定年帰農者等の人材確保のため新たな支援策を検討する。
	6-1-3	農林水産課	農業次世代人材投資事業補助金 433千円	農業次世代人材投資事業補助金 433千円
<ul style="list-style-type: none"> 女性農業者の連携と元気な高齢者による就農促進、農福連携の促進 	6-1-3	農林水産課	美方大納言小豆の生産拡大に取り組む「みかた小町」に対し、栽培にかかる経費を支援した。また、交流会や農作業を通してネットワークの構築を図り、お互いが高め合う場づくり、女性農業経営者としての活躍と定着を促進した。	女性農業者グループの活動に引き続き支援を行う。
	6-1-3	農林水産課	地域特産物販路拡大事業費	地域特産物販路拡大事業費
<ul style="list-style-type: none"> 但馬農業高校や畜産関係大学との連携による新規就農者の定着 	6-1-3	農林水産課	法人2軒の農家で3名の農業大学生や農業高校生の学生(研修生)の受け入れ、担い手の確保・育成を行った。	引き続き研修生の受け入れ体制づくりや新規就農への支援を行う。
	6-1-3	農林水産課	法人2軒の農家で3名の農業大学生や農業高校生の学生(研修生)の受け入れ、担い手の確保・育成を行った。	法人2軒の農家で3名の農業大学生や農業高校生の学生(研修生)の受け入れ、担い手の確保・育成を行った。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間(2020年度-2025年度の累計)で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人					13人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
・新たな森林経営管理システムの推進等による林業施業従事者の雇用拡大 6 - 1 - 3 農林水産課	森林管理100%作戦推進事業	人工林の間伐、作業道開設を継続して支援した。 ・ 間伐支援 70.50 ha ・ 作業道開設支援 2467.00 m 森林管理100%作戦推進事業費補助金 4,812千円	引き続き、支援を実施するとともに、森林環境譲与税にかかる県ガイドラインが改正(造林事業の補助残への活用が可能)されたことによる財源の見直しを行う。
・森林所有者やボランティア団体等を中心にした「木の駅プロジェクト」の推進 6 - 2 - 2 農林水産課	森林環境経営管理事業費	平成28年度の事業開始以後、出荷量等は順調に伸びている。 ・ 出荷量 754.7 t ・ グリーンチケット発券枚数 10,736 枚 木の駅プロジェクト補助金 250千円	周知活動を継続実施するとともに新規登録者の掘り起こし、出荷量の安定確保に努める。
・香住高等学校海洋科学科との連携や外国人漁業実習生の受入支援等による漁業就労者の確保 6 - 3 - 2 農林水産課	水産業振興事業費	香住高校と連携した漁業後継者の育成や、外国人漁業実習生の受け入れ体制づくりにより漁業就労者の確保を図ろうとしたが、新型コロナウイルス感染症の流行による入国制限があり、外国人漁業実習生の受け入れができなかった。 ・ 新規漁業就業者 4名 ・ 外国人漁業実習修了者 10名 消耗品費(新規漁業就業者激励記念品他) 66千円	船主、漁協からも評価が高い激励会を引き続き行うとともに、香住高等学校と連携も行う。
具体的な施策③ 未利用資源の発掘と新たな可能性の追求【拡充】			
・消費者に受入れられる農林水産物の加工、新商品開発、「ものづくり」・6次産業化への支援 農林水産課	6次産業化推進事業費	農林水産物の付加価値化と所得向上を図るため、1次産物の加工、商品開発のための試作、研究を進めるとともに、売れる商品づくりを目指し、観光商工課の「香美町ものづくり支援事業」との連携を図った。	引き続き、観光商工課の「香美町ものづくり支援事業」との連携を図る。
・消費者に受入れられる農林水産物の加工、新商品開発、「ものづくり」・6次産業化への支援 観光商工課	6次産業化推進事業費	地域の資源や特徴を生かした商品開発及び既存製品の改良に取り組む事業者に対し、セミナー及び相談会を実施した。 ・ 支援セミナー 4日間 37名 ・ 個別相談 7日間 11名 ものづくり支援事業委託料 1,000千円	セミナー受講者を対象に専門家によるブラッシュアップを行い、より実現性の高い事業となるよう個別相談を実施する。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人					13人

取組内容	予算区分 / 所管	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
・薬用作物、ハウス農業、未利用施設を活用した新規作目の導入検討	6 - 1 - 3 農林水産課	町単農業振興対策事業費	事業未着手 【事業着手予定年度：令和5年度】	但馬薬用植物研究会等の取り組みを支援するほか、施設園芸など新たな作目の導入についても検討を進める。
・新品種なしおとめ等の新規平場梨園造成と観光農園の検討	6 - 1 - 3 農林水産課	町単農業振興対策事業費	新規梨生産者や担い手を育成するため、現在山間傾斜地で行われている梨生産を平場での栽培に移行するためのモデル梨園整備を関係機関と連携のもと行った。	引き続き、平場園の可能性と観光農園について調査研究を進める。
・作業の省力化を目指したスマート農業の推進	6 - 1 - 3 農林水産課	—	美方郡農業改良普及事業協議会において、ドローンによる水稲の直播の実証実験が行われ、慣行栽培との比較は、約80%とそれなりの成果があった。 農業近代化施設整備事業補助金 14,756千円	今後も実証実験を進め作業の効率化、省力化が実証されればドローンなどスマート農業用の機械機具の導入支援を行う。
・有害鳥獣対策の推進に合わせたジビエ利用の研究	6 - 1 - 3 農林水産課	有害鳥獣対策費	事業未着手 【事業着手予定年度：令和5年度】	意欲を持つ民間事業者が現れた際に、随時情報提供等を行う。
・製材、木材加工など新たな林業事業者の創出	6 - 1 - 3 農林水産課	—	事業未着手 【事業着手予定年度：令和5年度】	意欲を持つ民間事業者が現れた際に、随時情報提供等を行う。
・栽培漁業及び蓄養殖の推進	6 - 1 - 3 農林水産課	水産業振興事業費	サザエ、アワビの稚魚放流及び新たにカサゴ、キジハタの稚魚放流を行うことにより、栽培漁業、資源管理型漁業への素地づくりを進めるとともに、水産資源の増強及び水産物の安定供給支援を行った。 魚貝類種苗放流事業補助金他 565千円	ヒラメの中間育成からカサゴ、キジハタの稚魚放流に変更したところであり、今後の漁獲の推移を見守る。
・道の駅等と連携した農作物等直売グループの育成	6 - 1 - 3 農林水産課	—	道の駅や朝市に農産物等を出荷販売するグループ等の活動を支援した。	引き続き、直売グループ等の活動支援を行う。
・食と農林漁業の体験、周遊滞在ツアーの実施	7 - 1 - 4 観光商工課	観光振興費	（一社）麒麟のまち観光局を主体に農泊推進を行ったが、ツアー造成にはつながらなかった。	ツアー造成につながるよう事業化を目指す。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人					13人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 異業種連携による起業・創業の支援、国県町制度の紹介及び情報提供 	地域しごと支援事業費	産業連携活性化協議会において異業種間の意見交換や情報共有を行った。 産業連携活性化事業委託料 1,000千円	引き続き、産業連携活性化協議会において意見交換や情報共有を行う。
7-1-2 観光商工課			

■施策の柱3 地域産業の競争力強化（観光分野）

具体的な施策① 観光振興計画の戦略的な展開とインバウンド対策の推進【拡充】

<ul style="list-style-type: none"> 観光振興計画の戦略的な展開 	観光振興費	観光振興計画実践委員会で、情報発信とインバウンドの研修を行った。 ・開催実績 3回	令和4年度に現行振興計画の振り返りと次期観光振興計画の策定を行う。
7-1-4 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 若年層などの新たな顧客の誘客 	観光振興費	体験コンテンツの掘り起こしを実施した。 【繰越】新規観光コンテンツ造成事業 7,800千円	EVバイク、サイクリングなどを活用した新たなモデルづくりを行う。
7-1-4 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 観光協会の統合による観光振興の一体的な推進 	観光振興費	観光連絡協議会で合併準備会を設立し、合併に向けた協定項目の協議に着手し、現在調整協議継続中である。	令和4年11月に協定項目の調整を終え、各観光協会総会での承認に向け準備を進める。
7-1-4 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 地域固有の文化や資源の再発見（見直し）と観光資源としての活用 	観光振興費	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
7-1-4 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 麒麟のまち観光局やオール但馬による広域観光連携事業の展開 	観光振興費	（一社）麒麟のまち観光局へ参加し、「広域エリアだからできる、やりたいこと、やれること」に取り組んだ。 北近畿広域観光連盟負担金 441千円 但馬観光協議会負担金 130千円 麒麟のまち観光局負担金 933千円 但馬観光協議会負担金（たじまわる分） 757千円	引き続き、（一社）麒麟のまち観光局へ参加し、「広域エリアだからできる、やりたいこと、やれること」に取り組む。
7-1-4 観光商工課			

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標 新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人					13人

取組内容	事業名		事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
	予算区分	所管		
<ul style="list-style-type: none"> ・旅行メディア等を活用した情報発信、定期的、効果的なプレスリリースの実施 	7-1-4	観光商工課	旅行者や番組制作会社などへ定期的に情報提供を実施し、本町のPRを行った。 ・テレビ放送 28回 ・ラジオ放送 26回 ・新聞・雑誌掲載 44回	引き続き、情報提供を定期的実施するとともに、内容の充実に取り組む。
		観光振興費		
<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドを増やすためのハード整備(看板キャッシュレス化等)の推進とモニターツアー、OTAの活用 	7-1-4	観光商工課	事業未実施	インバウンドに対応するための外国語表記看板の整備、ターゲット国の旅行者を対象としたモニターツアーやOTAを活用した宿泊予約を推進する。
		観光商工課		
具体的な柱② 地域資源（豊富な食材・豊かな自然）を活かす取り組み【拡充】				
<ul style="list-style-type: none"> ・香美町グルメのPR（アプリの充実など） 	7-1-4	観光商工課	活イカ、香住ガニ、ホタルイカなど季節に応じた町内フェアを実施し、メディア向け情報提供やホームページのほか、SNS投稿やチラシ作成によりPRに努めた。	新たな食材発掘を含め、プランづくりに努める。
		観光振興費		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域固有の文化や資源を活用した誘客の促進 	7-1-4	観光商工課	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
		観光商工課		
<ul style="list-style-type: none"> ・新商品（グルメ・お土産）の開発とPR 	7-1-4	観光商工課	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
		観光商工課		
<ul style="list-style-type: none"> ・「カニ」と「肉」を美味しく食べさせるコンシェルジュ（マイスター）制度の創設 	7-1-4	観光商工課	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
		観光商工課		
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな素材の開発とそれらを活用した地域ブランドづくり 	7-1-4	観光商工課	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
		観光商工課		

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人					13人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			

具体的な柱③ 滞在時間延長と観光消費額を増やす取り組み【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 体験プログラムのPR（体験カレンダー作成、遊び体験サイトの活用） 	観光振興費	（一社）麒麟のまち観光局事業として、体験コンテンツの掘り起こしを実施し、アソビューでの販売を行った。	引き続き、（一社）麒麟のまち観光局事業として、体験コンテンツの掘り起こしを実施する。
7 - 1 - 4 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 新たな体験プログラムの作成 	観光振興費	事業未実施	EVバイク、サイクリングなどを活用した新たなモデルづくりを行う。
7 - 1 - 4 観光商工課		【繰越】新規観光コンテンツ造成事業 7,800千円	
<ul style="list-style-type: none"> 旅行者等を対象としたモニターツアーの実施 	-	事業未着手 【事業実施年度】令和4年度	新たな視点でのツアー商品を開発するとともに、モニターツアー参加者から聴取した意見を踏まえ、ツアーの商品化をめざす。
7 - 1 - 4 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 悪天候でも満足できる体験型観光商品づくり 	観光振興費	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
7 - 1 - 4 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 体験型プログラムづくりやジオガイド、インストラクターの養成等、山陰海岸ジオパークを最大限に活かすジオツーリズムの推進 	山陰海岸ジオパーク推進事業費	体験メニュー創出支援とその普及啓発を行った。 ジオパーク推進ガイド養成委託料 2,700千円 山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金 2,462千円	周遊キャンペーン事業、ジオサイトインバウンド対策、ビジネス・体験メニュー創出支援とその普及啓発を行う。
7 - 1 - 4 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> まち歩きできる町並み環境、空間づくり 	観光振興費	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
7 - 1 - 4 観光商工課			

■施策の柱4 香美町への人材還流と就労対策

具体的な施策① 若者人材等の還流及び育成・定着支援【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊の募集等による若者層を中心としたふるさと回帰の促進 	地域おこし協力隊活動事業費	移住交流ナビJOIN、町HP、民間求人サイトへの掲載に加え、移住スカウトサービスを活用するとともに、地域おこしサポート業務、移住拡大対策業務に当たる地域再生協働員を配置し、情報発信から定住に向けたフォローアップを行った。	協力隊に興味を持たれた方、移住を検討されている方に対してきめ細かなフォローアップを行うとともに、地域再生協働員を最大限活用し、隊員、移住者及び関係人口の創出に努める。
2 - 1 - 7 企画課			

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間(2020年度-2025年度の累計)で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人					13人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
<ul style="list-style-type: none"> 地域に定着できるグローバル人材の育成 	高校魅力化支援事業費	村岡高校地域アウトドアスポーツ類型の生徒を募集するため、地域みらい留学を通じたオンライン説明会やオープンハイスクール等を実施し、全国の若者人材の還流を目指した。 香住高校海洋科学科の生徒を募集するため、オープンハイスクールで全県学区募集を実施し、県内の若者人材の還流を目指した。 高校魅力化支援事業補助金 ・ 香住高校 1,000千円 ・ 村岡高校 1,800千円	引き続き、広く生徒を募集することで、若者人材の還流を目指していく。
2 - 1 - 8 企画課			
具体的な施策② 高等学校等における次代の地域を育てる人材育成支援【拡充】			
<ul style="list-style-type: none"> 地場産業振興に向けた人材育成のための大学・専門教育機関等の試験研究施設等の誘致への取り組み 	-	平成29年11月、近畿大学へ本町内漁港エリアにおける利用可能地について提案を行ったが、日本海側では養殖事業は困難との回答であった。今後、畜養や陸上養殖についての可能性を検討する。	香美町の地域活性化に関する包括連携協定の関係団体ともに畜養、養殖について検討する。
- - 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 官民学地協働による「地域が育てる学力」と「地域を育てる学力」の向上を推進する組織の構築 	高校魅力化支援事業費	既存のコンソーシアムや運営連携協議会において、多種多様な意見を交換し官民学地それぞれの目線で魅力ある高校づくりに努めている。 <令和3年度開催実績> ・ コンソーシアム 3回 ・ 運営連携協議会 3回	コンソーシアムなどの活動を継続することで、学校と関係者の結びつきの活性化を図り、魅力ある高校づくりをさらに推進する。
2 - 1 - 8 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 香住高校、村岡高校の魅力化を図り、次代の地域を育てる若者の育成支援 	高校魅力化支援事業費	香住高校、村岡高校の生徒が地域に出て学び、地域における特有の課題解決や地域づくりに参画し、地域への愛着や誇りを育む活動の支援を行った。 高校魅力化支援事業補助金 ・ 香住高校 1,000千円 ・ 村岡高校 1,800千円	町内の県立高等学校の存続発展と地域の活性化のため、事業の充実を図る。
2 - 1 - 8 企画課/教育総務課			

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人					13人

取組内容		事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管				
・町内高校の存続発展と高校発展による地域の活性化促進	10 - 1 - 2 教育総務課	高校魅力化支援事業費	町内県立高等学校に在学し、遠距離等で通学困難な生徒が町内に下宿する場合、その保護者に対し下宿費の補助を行った。 ・村岡高等学校 1年生 4名 1,716千円 2年生 8名 3,520千円 3年生 11名 4,568千円	町内の県立高等学校の存続発展と地域の活性化のためにさらに多くの町外からの就学生徒を取り込む必要があり、事業の周知を高校と連携して行う。
・町内高校の存続発展と高校発展による地域の活性化促進	2 - 1 - 7 企画課	大学連携推進事業	芸術文化観光専門職大学の演劇的手法を活用したコミュニケーション教育を実施し、香住高校、村岡高校の生徒の自己表現力の向上を図った。 コミュニケーション教育業務 1,320千円	引き続き、芸術文化観光専門職大学と連携し、人材教育の一環として、香住高校、村岡高校の生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。
・町内企業との連携を強化した高校生の社会的自立と地元定着に向けたキャリア教育の推進	2 - 1 - 8 企画課	高校魅力化支援事業費	高校による総合的な探求の時間により町内企業と連携することで、企業の魅力を再発見し地元就職へ繋げることができた。 高校魅力化支援事業補助金 ・香住高校 1,000千円 ・村岡高校 1,800千円	引き続き、活動の成果を発表、PRすることで地域内外へ情報発信をしていく。
・町内企業との連携を強化した高校生の社会的自立と地元定着に向けたキャリア教育の推進	2 - 1 - 8 観光商工課	-	事業未実施	事業実施に向けて調査研究を行う。
・地元出身の大学生等の就職を支援する「ふるさと就活」の実施	7 - 1 - 2 観光商工課	(目) 商工業振興費 一般経常費	新規学卒者に対する企業紹介ガイドブックの作成を行った。 企業ガイドブック作成 (2,200冊) 902千円	掲載企業数を増やし、より内容の充実した企業ガイドブックの作成を行う。
具体的な施策③ ICT（情報通信技術）等の利活用による地域活性化【継続】				
・SNSを活用した「まちの情報」提供システムの構築	2 - 1 - 7 企画課	移住定住対策費	Instagram、Twitter、Facebook、LINEを活用した情報発信を行うことで、移住相談は前年に比べ142件増加し、特に、20代の移住相談が増加している。	令和4年度以降も引き続きSNSを活用した情報発信を行う。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人					13人

取組内容		事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管				
	<ul style="list-style-type: none"> ・移住定住サイトを活用した空き家や空き店舗、遊休施設情報の提供 	移住定住対策費	利活用可能な空き家等の情報を移住定住ウェブサイト一元化して提供することで、26件の空き家が活用された。 ホームページ保守委託料 968千円 報償費（町民ライター） 42千円	利活用可能な空き家を掘り出すため、空き家バンクの体制を強化し、令和4年度以降も引き続き利活用可能な空き家等の情報を移住定住ウェブサイトで提供する。
	2 - 1 - 7 企画課			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTベンチャー等のサテライトオフィス、シェアオフィス等の誘致への取り組み、空き家等の活用支援 	移住定住対策費	支援事業を利用し、1件の新規事業所が開設された。 ICT関連オフィス等開設・設置支援補助金 1,109千円	引き続き、事業所開設の支援やオフィス誘致に取り組んでいく。
2 - 1 - 7 企画課/観光商工課				
	<ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携による多様なテレワークモデルの開拓、導入への継続した取り組み 	移住定住対策費	町有施設にコワーキングスペースを整備するとともに、租大池公園バンガロー村（ログハウス2棟、バンガロー3棟）を長期滞在型のワーケーションに利用できるよう整備した。 ・コワーキングスペース整備施設 ジオパークと海の文化館（2階） 保養温泉館「おじろん」（2階）	町HPでワーケーション利用を広く呼び掛けるとともに、租大池公園バンガロー村の指定管理者と連携し、利用促進に努める。また、ワーケーション利用者と地域住民との関わり代づくりを検討し、関係人口の拡大に努める。
	2 - 1 - 7 企画課/観光商工課			

基本目標 Ⅱ

香美町への新しいひとの流れをつくる

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標	若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯
------	---------------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯					16世帯

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			

■施策の柱1 まちの魅力を発信し、香美町への新しいひとの流れをつくる

具体的な施策① 地方移住希望者への情報発信と支援体制の強化【継続】

<ul style="list-style-type: none"> 移住希望者及び移住者を支援する専門部門の設置と移住コーディネーターの設置 	移住定住対策費	移住コーディネーターによる移住者交流会の実施及び移住後の地域への介入支援により、移住者の定住を促進した。 ・ 移住者実績 16世帯34人	引き続き、移住者の定住支援を実施していくとともに、移住コーディネーターの後継者確保及び育成に努める。
2 - 1 - 7 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 移住定住フェア等の参加や各種メディアを活用した積極的な情報発信 	移住定住対策費	町民ライターによる計12本の記事を移住定住ウェブサイトで公開し、まちの魅力を広く発信したことで、ウェブサイトのアクセス数は前年に比べ14,739件増加したが、新型コロナウイルス感染症の流行により移住フェアの開催が縮小され、移住者の参加には至らなかった。 町民ライター報償費 6名 42千円	引き続き、移住フェアの参加促進と町民ライターによる記事の掲載により、まちの魅力を広く発信する。
2 - 1 - 7 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> より効果のある移住者支援体制の構築と強化 	移住定住対策費	移住アドバイザー及び移住コーディネーターと連携し、移住者支援を強化したことで、移住者の受け入れに前向きな地域が増えており、特に、小代区貫田、村岡区祖岡、村岡区大笹での移住に関する地域の活動が活発である。	移住に関して前向きな地域に対し、地域のみで移住者の受け入れを行えるよう、引き続きアドバイスをを行う。行政と地域の相互協力で、移住者支援体制を強化する。
2 - 1 - 7 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 移住希望者と地域住民が不安を感じる事のない移住者の受け入れ（支援）体制の整備 	移住定住対策費	移住者と地域住民双方の不安を軽減するため、移住前においては移住相談員による情報提供や密接なやり取りを行い、移住後は移住者と地域住民が交流できる場の創出を図ったが、地域主導の受け入れ体制の整備までには至らなかった。	引き続き、移住相談員等による移住者への支援を行うとともに、地域住民にも移住者受け入れに協力してもらえるよう働きかけるなど、移住者の受入体制を整備する。
2 - 1 - 7 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 将来の定住を視野に入れた地域おこし協力隊の受入体制の強化と多様な地域協力隊の検討 	地域おこし協力隊活動事業費	将来の生業づくりと定住を見据え、効果的な地域協力活動の検討及び受入体制の強化に取り組んだ結果、梨生産技術継業務における隊員を採用することができたが、その他の業務については採用に至らなかった。	隊員にとっても地域にとっても魅力のある業務を創出していく。
2 - 1 - 7 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 移住者のニーズに合ったお試し田舎暮らし制度の提供 	移住定住対策費	空き家バンク登録物件を活用し1名が制度を利用したが、定住にはつながらなかった。 空き家利活用促進支援補助金 2,529千円	引き続き、お試し住宅利用者に対し家賃補助を行い、定住につなげていく。
2 - 1 - 7 企画課			

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標	若い世帯の新たな移住 6年間(2020年度-2025年度の累計)で90世帯
------	---------------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯					16世帯

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			

具体的な施策② 空き家の利活用と移住しやすい環境の整備【継続】

<ul style="list-style-type: none"> 「WONDER KAMI」による空き家情報の発信強化 	移住定住対策費	<p>より詳細な空き家情報を掲載し、空き家情報以外のコンテンツも充実させることで、サイトとしての魅力向上につながり、アクセス数は前年比で14,739件増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規契約件数 26件 (前年比:13件増) ホームページ保守委託料 968千円 報償費(町民ライター) 42千円 	詳細な空き家情報の公開と、インタビュー記事やブログ記事等の定期的な更新を意識して行うことで、引き続き情報発信を強化する。
2-1-7 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 空き家の利活用に関する支援の強化と利活用可能な空き家の掘り起こし 	移住定住対策費	<p>定住支援活動奨励金及び空き家活用助成金を創設し、利活用可能な空き家の掘り起こしを図ったことで、空き家バンク登録件数を拡大することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規登録件数 34件 (前年比:14件増) 定住支援活動奨励金 100千円 空き家活用助成金 820千円 	引き続き、奨励金及び助成金の情報とあわせて空き家募集の情報発信を行い、利活用可能な空き家を空き家バンク登録へつないでいく。
2-1-7 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 空き家等を活用したシェアハウス、シェアオフィス、サテライトオフィスの開設支援 	移住定住対策費	<p>IT関連オフィスは制度を活用し1件新規開設があったが、移住体験施設の開設は該当がなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT関連オフィス等開設・設置支援補助金 1,109千円 移住体験施設開設支援補助金 0千円 	引き続き、支援制度の周知を行うとともに、移住体験施設開設支援補助金については制度見直しを視野に入れる。
2-1-7 企画課/観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 分譲地の情報発信、魅力アップによる移住促進 	区画整理事業費	<p>香美町山手土地区画整理組合の運営に係る助成として、令和3年度組合事務職員の給与809,923円の1/2(限度額400千円)に当たる400千円を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 山手土地区画整理組合運営補助金 40千円 	同区画整理事業の早期完了及び同組合の早期解散に向け、令和4年度以降も継続して支援を行う。
8-6-2 企画課			

具体的な施策③ 町内の基幹作業の新たな担い手の確保

<ul style="list-style-type: none"> インターンシップ等、新規就業者の発掘と事業者へのマッチング支援 	<ul style="list-style-type: none"> (目)労働諸費 (目)商工業振興費 一般経常費	<p>オンラインでの企業説明会を開催し、参加する事業者への支援を行った。また、企業ガイドブックの充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業説明会参加負担金 40千円 企業ガイドブック作成(2,200冊) 902千円 	企業説明会参加企業を増やす。また、企業ガイドブックの掲載企業数を増やし、内容の充実を図る。
5-1-1 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 人手不足解消に向けた外国人労働者の雇用促進と住民が不安を感じる事のない受入方法の検討 	地域しごと支援事業費	<p>事業未着手 【事業着手予定年度:令和4年度】</p>	労働力確保のため、外国人労働者の就労対策や外国人就労者への生活支援を行う。
7-1-2 観光商工課			

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標	若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯
------	---------------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯					16世帯

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
・後継者問題を抱える事業者が取り組む継業への支援 7 - 1 - 2 観光商工課	地域しごと支援事業費	専門家の支援により、1事業者が事業承継を行うことができた。 ・ 後継者塾 5回 24名 ・ 個別相談 4日間 4名 事業承継推進事業委託料 1,500千円	後継者がいない方や親族内承継の相談は秘密にしたいなどの意見もあることから、専門家による個別相談を行うこととする。
具体的な施策④ 農林水産関係の研究施設等の誘致【継続】			
・大学・専門研究機関等の農林水産業等の研究施設等の誘致への取り組み - - 企画課	大学連携推進事業	連携協力に関する協定を締結した姫路大学と連携し、産官学一体の但馬牛研究に対する側面的支援を行った。	姫路大学の事業計画に対する側面的支援を行い、但馬牛研究の推進を図る。
・大学・専門研究機関等の農林水産業等の研究施設等の誘致への取り組み - - 農林水産課	養殖場設置に係る利用可能地提案	平成29年11月、近畿大学へ本町内漁港エリアにおける利用可能地について提案を行ったが、日本海側では養殖事業は困難との回答であった。今後、畜養や陸上養殖についての可能性を検討する。	香美町の地域活性化に関する包括連携協定の関係団体ともに畜養、養殖について検討する。
■施策の柱2 若者が香美町で暮らしたいと思える環境整備			
具体的な施策① 次代対応型の仕事の場づくり			
・新技術、業務分野を担う起業、創業、事業承継への支援 7 - 1 - 2 観光商工課	地域しごと支援事業費	セミナー及び個別相談による支援を行った結果、3名が起業した。 ・ 創業支援セミナー 4回 9名 ・ 個別相談 7日間 9名 事業承継推進事業委託料 1,500千円 創業支援計画事業委託料 1,500千円	補助制度や優遇制度を周知し、意欲のある方の発掘につなげる。
・介護分野等における人材確保等、受け入れ事業所への支援 3 - 1 - 2 福祉課	介護職員確保対策事業費	平成30年度以降に町内介護事業所に新規採用された介護職員で、1年、2年、3年を経過した者に対し、助成金を交付した。 ・ 対象者 8名 1,000千円 また、I・Uターンを行い町内介護事業所に勤務する職員の家賃を補助した。 ・ 対象者 1名 80千円	町内介護事業所に新規採用された介護職員で、1年、2年、3年を経過した方52名へ助成金計2,825千円を交付し、3年経過した介護職員がいる5事業者へ助成金1500千円を交付する。また、I・Uターンを行い町内介護事業所に勤務する職員1名に対し家賃240千円を助成する。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標	若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯
------	---------------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯					16世帯

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
<ul style="list-style-type: none"> 起業を目指す人が集うことができる拠点づくり 	-	芸術文化観光専門職大学の地域リサーチ&イノベーションセンターを拠点とした観光地経営や起業支援瀬瀬昨冬を充実することにより、持続可能な地域づくりについて、調査研究を行った。	引き続き、芸術文化観光専門職大学の地域リサーチ&イノベーションセンターを核として、同大学と連携し地域課題の解決を図っていく。
- - 企画課		地域連携業務委託料 2,195千円	
具体的な施策② U・Iターンの促進			
<ul style="list-style-type: none"> Uターン就職者、希望者への支援 	-	事業未着手 【事業着手予定年度：令和4年度】	Uターン就職者、Uターン就職希望者に対して企業紹介や企業情報を提供するなど就労支援を行う。
- - 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 若者を対象とした雇用・就農相談及び企業とのマッチング事業支援、就職フェア、企業紹介フェアの開催支援 	(目) 労働諸費 一般経常費	コロナ禍により企業説明会をオンラインで開催し、参加事業者への支援を行った。	企業説明会の町内参加企業を増加させ、新規学卒者・UIターン希望者に対する企業とのマッチング機会を増やす。
5 - 1 - 1 観光商工課		企業説明会参加負担金 40千円	
<ul style="list-style-type: none"> 農業体験や農業研修の受け入れと就農、定着支援 	-	新規就農者の研修施設（仮）なしの学校の認定に向け、関係機関と連携しカリキュラムなどを策定。令和4年度中の認定に向け準備を進めた。	令和5年4月開校に向け、令和4年度中の認定を目指す。併せて、就農相談会に積極的に参加し研修生の確保を目指す。
- - 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊の定住に向けた総合的支援 	地域おこし協力隊活動事業費	県及び町の起業補助制度を活用し、定住に向けた起業・就業等の支援を行うための準備をしているが、取組実績はなかった。	起業への補助に加え、町に定住するために空き家を改修するための費用に対する補助制度を創設し、定住を促していく。
- - 企画課			
■施策の柱3 豊かな地域資源を活かし、香美町への集客と交流を促進する			
具体的な施策① 山・川・海の魅力発信の強化と、特色ある体験型観光の充実【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 山・川・海を活用した年間を通じて楽しめる遊び体験づくり 	観光振興費	(一社)麒麟のまち観光局事業として、体験コンテンツの掘り起こしを実施し、アソビューでの販売を行った。	引き続き、(一社)麒麟のまち観光局事業として、体験コンテンツの掘り起こしを実施し、アソビューでの販売を行う。
7 - 1 - 2 観光商工課			

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯					16世帯

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
・3区観光協会による連携イベントの開催 7-1-2 観光商工課	-	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
・カニと但馬牛を核とした「四季の食」による年間誘客の促進 - - 観光商工課	観光振興費	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
・神戸営業所を中心とした、旅行メディアを活用した情報発信と定期的なプレスリリース、観光PR動画の制作と活用 7-1-2 観光商工課	香美町役場神戸営業所事業費	旅行事業者、番組製作会社等へ定期的な情報提供を実施するとともに、テレビ、ラジオを通じ誘客を図った。 ・ プレスリリース 23回 ・ テレビ放送 28回 ・ ラジオ放送 26回 ・ 新聞・雑誌掲載 44回 令和2年度制作の観光PR動画を、阪神間イベント会場において放映することにより情報発信を行った。	引き続き、定期的・効果的な情報提供を実施する。
・農林水産業を体験するツアー等の受入体制の拡充 7-1-2 観光商工課	観光振興費	(一社)麒麟のまち観光局を主体に農泊推進を行ったが、ツアー造成にはつながらなかった。	ツアー造成につながるよう事業化を目指す。
・体験型アクティビティの商品化と販売体制整備への支援 観光商工課	観光振興費	(一社)麒麟のまち観光局事業として、体験コンテンツの掘り起こしを実施し、アソビューでの販売を行った。	引き続き、(一社)麒麟のまち観光局事業として、体験コンテンツの掘り起こしを実施し、アソビューでの販売を行う。
・観光パンフレットやホームページの多言語対応整備やキャッシュレス化によるインバウンド対策の推進 7-1-2 観光商工課	観光振興費	多言語観光パンフの増刷、多言語ホームページの更新を行った。	引き続き、多言語観光パンフの増刷、多言語ホームページの更新を行う。
・インバウンド向けコンテンツの開発とモニターツアーの実施 7-1-2 観光商工課	観光振興費	事業未着手 【事業着手予定年度：令和4年度】	インバウンド増加を目指し、ターゲット国の嗜好を踏まえたコンテンツを盛り込み、旅行会社向けモニターツアーを実施する。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標	若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯
------	---------------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯					16世帯

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
<ul style="list-style-type: none"> 文化遺産や地域資源を活用した町内周遊ツアーの構築 	観光振興費	事業未着手 【事業着手予定年度：令和4年度】	町内の街並みや文化財、行事、四季折々の風景、食、人、体験などの再発見とブラッシュアップを行い、周遊ツアーとして構築する。
7 - 1 - 2 観光商工課			
具体的な施策② スポーツによる交流人口の増大【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> マラソン、ウォーキング、ハイキングへの参加者の拡大とリピーター増加への取り組み 	-	各実行委員会に対し参加者へのアンケート調査の実施と検証を依頼し、今後の大会への反映を促す予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行により、数多くのイベントが中止となり、アンケート調査を実施することができなかった。また、他の人気ある大会等の情報収集を実行委員会へ依頼したが、同理由により全国的にイベントが中止となり、情報収集を行うことができなかった。	参加者の拡大とリピーター増加を図るため、昨年度実施することができなかったアンケートや聞き取り調査を行い、各実行委員会と情報の共有を図る。
- - 生涯学習課			
<ul style="list-style-type: none"> 「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」での競技運営による外国人選手の受け入れ 	ワールドマスターズゲームズ受入事業費	大会に向けた最終的な準備として、受入体制では選手輸送シャトルバスの構築、英語散策マップの設置依頼、観光体験プランの調整、宿泊プランの掲載促進、宿泊施設PR動画の公開を行い、普及啓発では看板、横断・懸垂幕の設置、WMGグッズの斡旋、オリエンテーリング体験会・大会の開催、競技ではプレ大会を開催したが、10/26に本大会の延期が決定された。	本大会延期に伴う気運の低下を防ぐため、適宜ホームページの更新によるPR、オリエンテーリング体験会を実施する。 外国人受入宿泊施設、英語のクーポン付散策マップ、観光体験プランは、大会開催年度を考慮し、再構築する。
10 - 6 - 1 生涯学習課			
<ul style="list-style-type: none"> 山・川・海を活用した新規スポーツイベントの計画と実施によるスポーツツーリズムの取り組みの推進 	-	ワールドマスターズゲームズ（WMG）終了後、新規イベントの情報収集を行う予定であったが、令和3年10月にWMGの延期が決定されたため、情報収集、聞き取り、関係団体の意向確認を行い、企画を進めた。	スポーツ庁のマーケティング調査結果、関係団体の意向、香美町の自然環境等を考慮し、WMGの開催に向け、取り組みを進める。
- - 生涯学習課			
<ul style="list-style-type: none"> 大学生等のスポーツ合宿の誘致と地元交流の促進 	-	スポーツ合宿受け入れに向け、兵庫県と旅行業法の取り扱いに関する聞き取りを行うとともに、町内全宿泊施設にアンケート調査（対象者、受入体制、単価等8項目）を行った結果、宿泊施設約30軒で受け入れ希望となっている。	先進地の事例、各調査結果、セミナー参加により情報を収集するとともに、受け入れを希望する宿泊施設とワークショップを行い、目標、ターゲット、情報の発信の方法等を決め、誘致を進める。
- - 生涯学習課			
<ul style="list-style-type: none"> 日本体育大学等とのスポーツ交流の拡大 	東京オリンピック・パラリンピック推進事業費	スポーツ技術の向上を図るため、スポーツの実技指導や講習などを検討していたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、連携事業が中止となった。	香美町スポーツ振興計画に位置付けられた香美町ならではのスポーツ種目を中心に日本体育大学事務局及び町内スポーツ団体関係者と十分調整を行いながら事業実施し、スポーツ交流の拡大を図る。
10 - 6 - 1 生涯学習課			

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標	若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯
------	---------------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯					16世帯

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
<ul style="list-style-type: none"> 町のイベント等を活用した村岡高校の魅力発信の推進 	企画課/教育総務課	コロナ禍によりスポーツイベントが中止となった。	スポーツイベントの再開にあわせて、町の魅力と、高校の魅力発信に努める。
<ul style="list-style-type: none"> 利用頻度の低い屋外運動施設の利活用計画の策定と実施 	生涯学習課	<p>租岡すこやか広場の利用件数は、令和元年度まで年間40件前後で推移していたが、新型コロナウイルス感染症の流行により令和2年度は10件、令和3年度は11件にとどまっており、現状として計画は全く実施ができていない。</p> <p>小代健康公園芝生公園（大谷）の管理を民間団体へ委託し、主にキャンプ場として整備・活用したところ、平成30年度から利用者がなかったが、約2ヶ月間で188名の利用があった。また、資源を活用したふるさと教育プログラムを実施したことから、町外在住者から高い評価を得ることができた。</p> <p>広井多目的山村広場については、現状として計画もなく実施ができていない。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の今後の状況はまだ見通せない状況ではあるが、合宿も含め利用に関する問い合わせ件数が少しずつ戻りつつあるため、今後、計画を策定するとともに、適切なグラウンドの維持管理に努め、万全の受け入れ態勢を整えることによりコロナ後の利用拡大を図る。</p> <p>小代健康公園については今後は長期間の管理委託を実施し、短期間による一時的な利用増加でないかどうかを検証し指定管理に向けて調整をしていく。</p> <p>広井多目的山村広場については、年間の利用件数が令和2年度で19件、令和3年度で27件と低迷しているため、利用者数の向上に向けて、今後、計画を策定していく。</p>
具体的な施策③ 文化遺産や地域資源を活用した誘客の促進【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 和牛改良の礎を築いている但馬牛のルーツの世界発信、但馬牛の歴史、価値の情報発信 	畜産振興対策事業費	FAOより世界農業遺産に係る認定書の修正、再提出の指示があり、令和3年10月に再提出を行った。現在のところ審査再開の時期等は不明である。	引き続き、世界農業遺産への認定を目指す取り組みを推進し、美方郡但馬牛のブランド力向上と畜産振興を図る。
<ul style="list-style-type: none"> 香美町の歴史文化遺産を活用した情報発信と新規誘客 	観光振興費	事業未実施	町内の歴史、文化を誘客に結び付けられるよう、整理、ブラッシュアップしその魅力をPRする。
具体的な施策④ 友好都市等、都市部住民との交流促進と関係人口の拡大【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 体験施設を活用した交流事業の構築による誘客 	ジオパークと海の文化館運営事業費	<p>ジオパークと海の文化館の体験施設を活用し、都市部の自然学校や団体観光客を誘致し交流の促進を図った。</p> <p>・ 体験実習者 208人</p>	引き続き、ジオパークと海の文化館の体験施設を活用し、都市部の自然学校や団体観光客を誘致し交流の促進を図る。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯					16世帯

取組内容		事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管				
<ul style="list-style-type: none"> 「香美町フェア」等各種イベントにおける特産販売、観光PRの促進 芸術、文化、スポーツ等を通じた相互交流の推進 芸術、文化、スポーツ等を通じた相互交流の推進 	7 - 1 - 2	観光商工課	「香美町フェア」として香住ガニメニューフェアを神戸市内22店舗で10日間実施したほか、神戸市内商店街などと連携した特産物販売イベント開催によるPRを行った。	引き続き、メニューフェアや特産物販売などのイベント開催により、観光PR・町内誘客を推進する。
	2 - 1 - 10	企画課	国内交流事業費 姉妹都市交流事業費 国内交流事業 17千円 姉妹都市交流事業 0千円	兵庫県5カ国交流会議については解散を視野に入れ、引き続き交流を行っていく。
	10 - 6 - 1	生涯学習課	(目) 保健体育総務費 一般経常費	新型コロナウイルス感染症の流行により豊岡演劇祭やマラソンや雪合戦など大半の事業が中止となった。

基本目標 Ⅲ

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人					-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			

■施策の柱1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

具体的な施策① 出会い・結婚支援【継続】

・ライフプランを設計する機会の提供 2 - 1 - 7 企画課	結婚支援対策費	ライフデザイン冊子を活用した「ライフデザインセミナー」を実施し、若者が結婚や子育て、仕事を含めた自身の人生設計を前向きに考える機会を提供した。 ・ 高校生向けセミナー（村岡・香住高校） 各 1回 ・ 一般向けセミナー（動画配信） 1回 ライフデザイン構築支援事業委託料 1,485千円	高校生向けセミナーで実施したアンケートの結果（意見・要望等）を活用し、より充実した内容のセミナーを企画する。 一般向けについては、ライフプランを設計する機会の提供に併せて参加しやすい工夫を考える。
・カフェ、ショップ、コミュニティ拠点等、自然に交流できる場の創出及び利用促進 2 - 1 - 7 企画課	結婚支援対策費 移住定住対策費	若者のまちづくりへの参加と交流の場等の創出を図るための支援を実施した。	交流場所のさらなる活用と新たな開拓に対して、引き続き支援を行う。
・セミナー等による自身の魅力向上の機会提供 2 - 1 - 7 企画課	結婚支援対策費	結婚を希望する若者の魅力向上に向けたセミナーの開催について検討を行ったが、新型コロナウイルス感染症の流行によりセミナーの実施には至らなかった。	オンラインでの開催も視野に入れた参加しやすいセミナーを検討する。
・国際化、多様化に対応した適切な出会いの機会の創出、後押しなど積極的な結婚支援 2 - 1 - 7 企画課	結婚支援対策費	町内における出会いの機会の創出を図るため、各種イベント、自己啓発講座、講演等の婚活サポート事業を実施する団体に対し、側面的支援を行った。 ・ 事業実施団体数及び開催数 2団体/2回 結婚サポーター事業助成 157千円	出会い支援事業に取り組んでいる団体への側面的支援を継続する。
・「ひょうご出会いサポートセンター」「麒麟のまち婚活サポートセンター」の活用促進 2 - 1 - 7 企画課	結婚支援対策費	麒麟のまち婚活サポートセンターと連携した婚活事業を行うとともに、同センター及びひょうご出会いサポートセンターの情報を町ホームページ等で紹介し、利用を促した。	サポートセンターとの連携を密にし、町内イベントの開催、参加者の増加に向けたイベントの提案、広報及びホームページ等を活用した情報提供を行い、更なる機会の創出を図る。

具体的な施策② 妊娠・出産の不安の軽減と子育ての自信を育む支援【継続】

・子育て世代包括支援センターの利用啓発の促進と機能強化 4 - 1 - 1 健康課	子育て世代包括支援センター事業費	保健センターの設置に伴い、子育て世代包括支援センターを保健センター内に移動し、妊娠期から子育て期にわたる母子保健や子育てに関する相談支援の拠点としての環境を整えることができた。 ・ 利用件数（電話相談等も含む） 221件	妊娠期からのかかわりの第1歩である母子健康手帳交付を関係性構築の機会としてとらえ、世代センターでの交付日を設け丁寧にかかわるとともに、相談支援の窓口拠点として周知を図る。
--	------------------	---	---

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持	

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人					-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 子育て経験を活かした同世代の母親による妊産婦へのサポート 	子育て世代包括支援センター事業費	事業未着手 【事業着手予定年度：令和4年度】	子育て経験のある母親が子育てモデルとして妊産婦をサポートする事業を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> 不妊治療等への支援の拡充 	母子保健対策費	各種母子保健事業の推進による安心安全な子育て支援を行った。 一般不妊治療費扶助費 利用件数 13件 524千円 特定不妊治療費扶助費 利用件数 12件 1,102千円	医療保険適用後の状況に合わせ助成金の拡充など妊娠以前からの子育て支援を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 産前産後ヘルパー派遣事業の充実 	子育て世代包括支援センター事業費	妊娠中や産後に支援を必要とする母子に対し、家事や育児のヘルパーを派遣し、育児負担や育児不安の軽減を図り母親が自信を持って子育てができるための支援を行うことができた。 ・ 利用件数 48件 産前産後ヘルパー派遣事業委託料 192千円	引き続き、事業の啓発・促進を図る。
<ul style="list-style-type: none"> 産後ケア事業の充実 	子育て世代包括支援センター事業費	産後の支援を必要とする母子のケアを医療機関等での宿泊または訪問により提供し、育児不安等の軽減を図り母親が自信を持って子育てをスタートできるための支援を行うことができた。 ・ 利用件数 【宿泊型】 1件 【訪問型】 5件 産後ケア事業委託料 74千円	引き続き、事業の啓発・促進を図る。
<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期を通じた食育の推進 	母子保健対策費	健全な食習慣の確立のため、各種子育て支援を実施した。 ・ 離乳食と歯の教室 回数：4回 参加者：8組 4千円 ・ 母と子の料理教室等 回数：7回 参加者：70人 80千円	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、教室中止もあったが、おおむね実施できた。今後も引き続き健全な食習慣の啓発を実施する。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人					-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
■施策の柱2 子ども・子育て支援の充実			
具体的な施策① 教育・保育環境の充実【継続】			
・子育て支援マップの作成及び子育て情報の発信（無料子育てアプリの導入）	母子保健対策費	アプリを活用し、妊娠期から子育て期における情報をタイムリーに届け、育児不安や育児負担の軽減を図った。 ・累計登録件数 185件 ・3歳までの利用者 51.8% ・イベント通知 28件 ・育児情報啓発活動 16件 子育て情報サービス利用料 396千円	オンライン相談等の希望はなかったが、新型コロナウイルス感染症拡大等の状況に踏まえて、タイムリーな情報発信をすることができた。今後も引き続き、利用者の増加を目指し、細やかな子育て支援を行う。
4 - 1 - 1 健康課			
・総合的な子育て支援を提供する拠点の整備	-	乳幼児のための健診や親世代の健診等の事業や健やかな子育てのための教室、健康相談事業など、子育てを総合的に支援するための保健事業の拠点となるセンターを設置、整備した。 香美町保健センター事業費 6,448千円	総合的な子育て支援を提供する拠点としての保健センターを設置でき、子育て支援事業を展開できている。今後も総合的な子育て支援の窓口として周知を図り、利用の促進を目指す。
- - 健康課			
・保・幼・小・中・高が連携した「一貫化教育」の推進	教育研修所費	あいさつ運動については、幼・小・中・高で連携し取り組むことが出来たが、コロナ禍のため対面式での研修等の連携した取組はできなかった。	中学区単位で「めざす子ども像」を共有し、9年間の義務教育を通じた教育課程編制の確立と、今後の学校再編計画を考慮しながらさらなる連携を進めていく。
10 - 1 - 2 教育総務課			
・不登校の未然防止やいじめの早期発見、早期対応に向けた学校、保護者、関係機関の連携の推進	教育相談センター運営費 スクールソーシャルワーカー配置事業費	授業づくりや集団づくり等により不登校の未然防止に取り組むほか、学校、保護者、教育相談センター等関係機関と連携し、「適切で、安心安全な居場所づくり」に努めた。また、定期的な生活アンケート(年3回以上)や教育相談等により、いじめの積極的認知を行い、教職員の意識と対応能力向上を図った。 ・いじめ問題対策協議会の開催 1回 ・ふれあいルーム連絡会 月1回	引き続き不登校の防止と減少、いじめの早期発見・早期対応に取り組む。
10 - 3 - 2 こども教育課			
・学校園所へのICT活用の推進 ・授業への積極的なICT活用の推進	(小学校) 小学校コンピュータ整備事業費 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業費	学校や家庭で学習するドリル教材を導入し、児童の学力向上を図るため、ドリル教材の操作研修会を実施し、職員のICT技術の向上に努めた。	学校間で、タブレットの使用頻度にばらつきがある。どの学校でも一定の利用を図るため、情報提供や操作研修を実施する。
10 - 3 - 1 教育総務課			

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人					-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校園所へのICT活用の推進 ・ 授業への積極的なICT活用の推進 <p>(中学校)</p>	中学校コンピュータ整備事業費 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業費	学校や家庭で学習するドリル教材を導入し、生徒の学力向上を図るため、ドリル教材の操作研修会を実施し、職員のICT技術の向上に努めた。	学校間で、タブレットの使用頻度にばらつきがある。どの学校でも一定の利用を図るため、情報提供や操作研修を実施する。
10 - 3 - 1 教育総務課			
<ul style="list-style-type: none"> ・ グローバル化に対応した教育の充実 	外国青年招致事業費	外国語指導助手を5人配置し、小・中学校における外国語科等の授業補助、小学校における外国語活動等の補助を行った。 ・ 中学校第3学年の英語検定3級以上取得及び同等の英語力を有すると思われる生徒の割合 54.90%	児童生徒の英語力と国際意識の向上を更に目指すため、外国語指導助手の指導力と資質の向上を目指す。
10 - 1 - 2 教育総務課			
<ul style="list-style-type: none"> ・ グローバル化に対応した教育の充実 	小学校英語カススキルアップ事業 中学校英語カススキルアップ事業	新型コロナウイルス感染症対策のため、小学校及び中学校で実施予定の英語カススキルアップ事業を中止した。中学校全生徒を対象に英語能力判定テストを実施した。	新型コロナウイルス感染症感染状況に配慮し、小学校・中学校英語カススキルアップ事業の実施及び実施内容を検討する。
10 - 2.3 - 2 こども教育課			
<ul style="list-style-type: none"> ・ トリプルチャレンジ大作戦の充実 	(目) 教育振興費 一般経常費	実施回数は減少したが、感染症対策を図りながら事業を実施した。	小規模校の子どもたちを集め、学校園の内外において多人数での合同授業や交流学习などの学習機会を様々な場面でつくることにより、子どもたちの「生きる力」の育成を図る。
10 - 2 - 2 教育総務課			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学前わくわく交流会 	(目) 幼稚園費 一般経常費	就学前の町内幼稚園等を4グループに編制し「わくわく交流会」を実施。コロナ禍で予定回数の半分程度の実施となったが、楽しい活動を重ねることでお互いが仲良くなり、コミュニケーション能力の向上が見られた。 ・ 実施回数（4グループ計） 19回	コロナ禍において当初の予定回数を維持することが課題であるが、交流方法等を工夫し実効性をより高めながら引き続き実施する。
10 - 4 - 1 こども教育課			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上ステップアップ授業 	(目) 教育振興費 一般経常費	ICT機器を活用したオンライン形式で自然学校の報告会や意見交換など新しい形で実施することができた。	今後もオンラインでの交流学习等を活用し、感染症対策を図りながら効果的な学習ができるようにするとともに、教職員の負担軽減を図り、さらなる保護者・地域の理解を得られる取組を推進する。
10 - 2 - 2 教育総務課			

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人					-

取組内容	事業名		事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
	予算区分	所管		
・土曜チャレンジ学習	10 - 5 - 1	生涯学習課	<p>町内2つの中央公民館において、ふるさと教育が指導できる地域の協力により、学校の枠を超えた交流を促進し、多様な価値観に触れる機会を増やすことを目的とした「土曜チャレンジ学習事業」を下記のとおり実施した。</p> <p>【香住区】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催回数 7回 延べ参加者数 234人 (内訳：香住202人、佐津13人、柴山14人、長井5人) <p>【村岡区】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催回数 7回 延べ参加者数 127人 (内訳：村岡29人、兎塚1人、射添84人、小代13人) <p>新型コロナウイルス感染症の流行により各中央公民館で10回開催の内、3回が中止となったが、香住区では香住高校の協力による但州丸を使った漁業体験、村岡区では兎和野高原野外教育センターの協力により雪山ハイキング等を行い、それぞれの地域特色に併せたふるさと教育を実践し、参加者の交流促進とふるさとに対する理解を深める効果があった。</p>	参加者数は多いものの、一部の小学校区に参加者が偏る傾向があるため、参加対象を香住区小学生と村岡区・小代区小学生と分けて行っていた事業を、交流の促進を図り、効率的なふるさと教育の推進を行うため、対象者を香美町全体に広げるように計画を立案する。
・体験的なふるさと教育の推進	10 - 2 - 2	こども教育課	<p>小学3年生に対する地域人材を活用した環境体験学習や小学5年生に対する5日間の自然学校を実施し、多様な体験的学習を通してふるさとへの理解・愛着心を育成した。ふるさと教育共通教材として、小学校では「但馬牛」、中学校では「山陰海岸ジオパーク」を年間指導計画に取り入れることを共通理解した。</p>	学びの場を校外に移し、命の育みや社会性を育成するとともに、多様な体験活動によりふるさと教育の推進を引き続き実施する。
・地産地消による日本一のふるさと給食など、地域に根ざした食育の推進	10 - 6 - 4	教育総務課	<p>地元産食材をふんだんに使ったふるさと給食を「生きた教材」として活用し、「ふるさと食材調理実習」などの地域人材を活用した実践活動等により地域に根ざした食育を推進する取組を行った。 地元産使用率 主要野菜32.7%、牛肉83.2%、魚74.8%</p>	約7割の児童生徒が香美町の好きなおいしい地元産食材と回答しているが、「ふるさと給食」の認知割合は約5割である。（※第2期香美町教育振興基本計画に関する意向調査より）そのため、「ふるさと給食」についての周知活動をさらに推進し、地元産主要野菜の給食への使用率を「ふるさと給食推進員」を中心にさらに高めていく。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人					-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
具体的な施策② 子育て家庭を支える地域づくり【継続】			
・子育て・子育て支援センターの充実 3 - 2 - 5 こども教育課	子育て・子育て支援センター費	子育て・子育て支援センターの開設と運営 ・実施箇所 3箇所 年間利用者数 香住子育て・子育て支援センター 2,914人 香住子育て・子育て支援センター 1,533人 香住子育て・子育て支援センター 1,236人 計 5,683人	親子同士の交流事業の充実や指導相談員の資質向上を図りながら、引き続き事業を実施する。
・子育てグループ等への活動支援 3 - 2 - 5 福祉課	(目) 子育て支援事業費 一般経常費	地域子育て支援事業補助金 350千円 ・交付先 子育て団体 7団体 自治会等 -団体 合計 7団体	子育てグループの活動費の助成を行うことで、既存グループの育成強化につながっている。少子化に伴い、子育てグループが減少している状況がある。引き続き子育て・子育て支援センターと連携を図り、既存グループの活動が維持できるよう支援する。併せて、地域での子育て環境の向上を図るため、児童の遊び場や遊具を設置する区又は自治会に対して引き続き支援を行う。
・地域での子育てを支える人材の育成 4 - 1 - 1 健康課	子育て世代包括支援センター事業費	地域の子育て支援を促進する事業を実施した。 ・オンライン多胎児子育て交流会参加者数 2人	産後ケアリスト等の子育てを支える人材に対する資質の向上や活動支援を進める。
・子育て世代と祖父母世代との勉強会・交流の推進 4 - 1 - 1 健康課	子育て世代包括支援センター事業費	家庭、地域の子育て支援を促進する事業を実施した。 ・子育て支援講演会参加者 (講師：稲垣心理士) 11人 30千円	感染対策を図りながら、子育て世代と祖父母世代の交流を促すことのできる事業を進める。
・産後ケアリスト等の有資格者を活用したファミリー・サポート 4 - 1 - 1 健康課	子育て世代包括支援センター事業費	産後の母子をケアする有資格者等を活用した子育て支援事業を実施した。 ・ママカフェサロン 10回実施 延 42人 ・わくわくサロン 10回実施 延 96人 ・訪問サポート事業 延 1人 産後ケアリストによるサポート事業費 150千円	産後ケアリスト事業の周知を図るため母子健康手帳交付時にも産後ケアリストを活用し、妊娠期からの支援強化を図る。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人					-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			

■施策の柱3 子どもを生き育てやすい環境整備

具体的な施策① ワーク・ライフ・バランスの推進【継続】

<ul style="list-style-type: none"> 未来のパパママ事業、お父さん応援事業、お家に帰ろうデー等男性の家事、育児参加に向けた意識改革の促進 	子育て世代包括支援センター事業費	父親の育児参加の促進を目指した事業を実施した。 ・ パパママ子育て教室（個別講習会含む） 5回	個別の対応を併用しつつ、感染対策を図りながら参加者同士の交流会の開催を進める。
4 - 1 - 1 健康課			
<ul style="list-style-type: none"> 企業へのワーク・ライフ・バランス普及啓発と推進企業の認定 	地域しごと支援事業費	新型コロナウイルス感染症の流行により、ワークライフバランスに関するセミナーが開催できなかった。	町内事業者を対象とした、ワークライフバランスに関するセミナーを実施する。
7 - 1 - 2 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 働きやすい職場環境づくりに取り組む企業への助成 	地域しごと支援事業費	働きやすい環境づくりを目指す企業に対し、セミナーや研修費等に係る経費を補助する支援体制を整えているが、令和3年度は申請者がいなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、働き方も変化している中で、新たな環境づくりに補助金を活用していただくため事業の周知を図る。
7 - 1 - 2 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 香美町男女共同参画行動計画の推進 	男女共同参画推進事業費	男女共同参画の推進に係るパンフレット等の配架を行うとともに美方郡内の兵庫県男女共同参画推進員の自主的な活動を支援した。 第2次香美町男女共同参画行動計画の計画期間満了に伴い、これまでの成果や課題の検証、男女共同参画を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、第3次香美町男女共同参画行動計画の計画を策定した。	第3次香美町男女共同参画行動計画に添い、住民の男女共同参画意識の向上を図るため啓発等を継続して取り組んでいく。
3 - 1 - 4 町民課			

具体的な施策② 仕事と子育ての両立支援【継続】

<ul style="list-style-type: none"> 延長保育、一時保育の充実 	保育所運営支援事業費	延長保育や一時保育を実施する町内民営保育所（園）に対して支援を行った。 延長保育事業補助金 2,265千円 ・ 実施保育所数 4箇所 ・ 補助保育所数 3箇所 一時保育補助金 87千円 ・ 延べ利用児童数 30人 ・ 補助保育所数 3箇所	保育事業充実のため引き続き事業を実施する。
3 - 2 - 2 こども教育課			

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人					-

取組内容	事業名		事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
	予算区分	所管		
・放課後児童クラブの充実 ・幼稚園の預かり機能の充実 ・病児保育の充実 ・配慮を必要とする子どもや家庭への支援（未熟児、障害児、アレルギーのある子ども、一人親家庭等）	3 - 2 - 5	子ども教育課	放課後児童健全育成事業費 保護者の就労と子育ての両立支援、児童の健全育成のため、放課後児童クラブを開設した。（コロナ対策により学校休業中にも開設） ・ 開設数 10 箇所 ・ 利用児童実人数 185 人	子ども健全育成のため引き続き町内全小学校区で実施する。スマイルかすみ施設規模に対する利用希望ニーズ過多になった際の運営及び支援員の確保が課題であり、実施方法を検討していく。
	10 - 4 - 1	子ども教育課	幼稚園一時預かり事業費 教育時間後や土曜日・長期休業日に、家庭での保育が困難な園児を対象に、預かり保育を実施した。 ・ 香住幼稚園で実施 平日利用延べ利用児童数 6,519 人	保育事業充実のため引き続き事業を実施する。
	3 - 2 - 2	子ども教育課	病児保育事業費 保護者の就労と子育ての両立支援のため、病気になった児童の一時保育を実施した。 香住病院内の専用ルームで病児対応型を実施 ・ 延べ利用児童数 4 人 病児保育事業補助金 ・ 病児保育（体調不良児型）実施保育所数 2 箇所 ・ 延べ利用児童数 42 人	保育事業充実のため引き続き事業を実施する。村岡区・小代区児童の利用に向けた体制について継続して検討を行う。
	3 - 2 - 2	子ども教育課	保育所運営支援事業費 障害児の受け入れに要する加配等の経費に対して補助金を交付し、保育所運営を支援した。 障害児保育事業補助金 ・ 障害児保育実施保育所数 5 箇所 ・ 補助保育所数 3 箇所	保護者のニーズに対応する保育所の支援を引き続き実施する。また、医療的ケア児の受け入れ体制整備の検討を行う。
具体的な施策③ 子育てに係る経済的負担の軽減【継続】				
・妊産婦健康診査費の助成 ・入・通院無料化含む乳幼児等医療費、子ども医療費の助成	4 - 1 - 1	健康課	母子保健対策費 妊娠・出産・子育てにおける健康増進と経済的負担を軽減できた。 妊産婦健康診査費扶助費 4,883 千円	引き続き事業を実施する。
	3 - 2 - 1	健康課	乳幼児医療費助成事業費 乳幼児等の医療費及び子ども医療費の一部負担金の無料化を行った。 乳幼児等医療費扶助費 25,707 千円 子ども医療費扶助費 26,511 千円	子育て世帯の経済的負担の軽減につながっているため、引き続き事業を実施する。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人					-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
・保育料の軽減 3 - 2 - 2 こども教育課	保育料軽減事業費	保育所及び認定こども園の3号認定児童に係る保育料の一部助成を行った。 ・保育料軽減事業費 1,733千円 ・対象児童数 28人	保護者の経済的支援のため、引き続き事業を実施する。
・第3子以降を育てる世帯への支援 - - 健康課	-	事業未着手 【事業着手予定年度：令和4年度】	実施に向けた検討を行う。
・第3子以降を育てる世帯への支援 - - こども教育課	-	子育て世帯にかかる経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てることができるよう、第3子以降を育てる世帯への支援について検討・協議した。 【事業着手予定年度】令和4年度	令和4年度から、放課後児童クラブを利用する第3子以降の子どもの利用料を軽減し、多子世帯への支援を行う。
・母子等家庭への医療費の助成 3 - 2 - 2 健康課	母子家庭等医療費給付事業費	母子・父子家庭の医療費の一部助成を行う。 母子家庭等医療費扶助費 1,437千円	子育て世帯の経済的負担の軽減につながっているため、引き続き事業を実施する。
・予防接種費用の助成 4 - 1 - 2 健康課	予防接種費	定期予防接種の無料化を行うとともに、任意接種のインフルエンザに対し、一部助成をした。（一部助成者3,803人） 予防接種委託料 26,461千円	子育て世帯の経済的負担の軽減につながっているため、引き続き事業を実施する。
・遠距離通学費の助成（小学生） 10 - 2 - 2 教育総務課	遠距離通学児童援助費	遠距離通学している対象者全員に助成を行い、児童家庭の経済的負担を軽減することができた。 遠距離通学児童援助費 4,108千円	引き続き、遠距離通学する児童に対して通学費を補助する。
・遠距離通学費の助成（中学生） 10 - 3 - 2 教育総務課	遠距離通学生徒援助費	遠距離通学している対象者全員に助成を行い、生徒家庭の経済的負担を軽減することができた。 遠距離通学生徒援助費 9,582千円	引き続き、遠距離通学する生徒に対して通学費を補助する。
・遠距離通学費の助成（幼稚園） 10 - 4 - 1 教育総務課	（目）幼稚園費 一般経常費	遠距離通園している対象者全員に助成を行い、園児家庭の経済的負担を軽減することができた。 通園費補助金 129千円	引き続き、遠距離通園する園児の保護者に対して通学費を補助する。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人					-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 遠距離通学費の助成（高校生） 	（目）事務局費 一般経常費	町内在住高校生のバス通学定期券購入費用に対して助成することで、保護者の負担軽減とバスの利用促進を図った。 高校生バス通学助成金 477千円	利用者数が限られていることから、高校生バス通学助成金の利用促進を図る。
<ul style="list-style-type: none"> 義務教育終了までの子どもや家庭への支援 	-	事業未着手 【事業着手予定年度：令和5年度】	義務教育終了までの子どもや家庭への支援策の検討を行う。
	10 - 1 - 2 企画課		
	- - 健康課/こども教育課		

基本目標 IV

安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所					1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			

■施策の柱1 地域コミュニティによるふるさとづくり

具体的な施策① 新しい地域コミュニティづくり - 広域的なコミュニティ組織による活性化 - 【継続】

<ul style="list-style-type: none"> 新しい地域コミュニティづくりを推進する担当部署の設置 	地域コミュニティ活性化事業費	地域づくりを推進する担当課（係）の設置について検討を行ったが設置には至らなかったため、企画課直轄で事務を行った。	県、他市町及び有識者等の意見・情報を参考にしながら、役場内での業務の進め方について検討を進める。
7 - 1 - 8 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 地域内の既存組織や町行政の会議・団体・各種委員の整理・統廃合 	地域コミュニティ活性化事業費	事業未実施	新しい地域コミュニティ（まちづくり協議会）の設立に向けた協議を進めていく中で、地域内の各種団体の整理や町が選出を依頼する各種委員の地域内での統合選出（複数の区をまかなう委員）について検討を行う。
7 - 1 - 8 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティ組織の活動を補完するため、人的支援と自由度の高い交付金による継続的な財政支援 	地域コミュニティ活性化事業費	射添地区まちづくり協議会における取組を中心的に担う事務局長として集落支援員を配置し、組織運営及び活動における側面的な支援を実施した。 集落支援員活動費（人件費除く） 281 千円 地域コミュニティ活性化事業助成金 295 千円 まちづくり協議会活動助成金 1,595 千円	県や町の補助制度を有効に活用し、地域の課題解決に向けた取組を継続できるように、引き続き支援を行う。
7 - 1 - 8 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 食料品・日用品等の販売や宅配サービス、移動手段の確保など、安心した日常生活が送れる施設配置やサービス提供の取り組み 	地域コミュニティ活性化事業費	事業未実施	他市町の既存組織等の事例を参考にするなど、幅広い視点から地域の状況にあわせた取組について支援する。
7 - 1 - 8 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 道の駅の活用やコミュニティカフェ、高齢者の知識やスキルを集積したまちライブラリーなどのデジタルアーカイブの推進 	地域コミュニティ活性化事業費	事業未実施	他市町の地域コミュニティ組織及びモデル地区等の活動事例を参考にしながら、地域の現状や将来性を見据えた取組を検討するとともに、既存組織の取組に対して支援を行っていく。
- - 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 多世代が気軽に集うことができる魅力ある居場所づくり 	地域コミュニティ活性化事業費	県及び町の補助制度を通して各集落における地域づくり・魅力ある居場所づくりの取組を支援した。	他市町の地域コミュニティ組織及びモデル地区等の活動事例を参考にしながら、地域の現状や将来性を見据えた取組を検討するとともに、既存組織の取組に対して支援を行っていく。
7 - 1 - 8 企画課			

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所					1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
・地域と学校園が連携しその地区ならではのふるさと教育の推進 10 - 5 - 1 生涯学習課	ふるさと教育推進事業費	「ふるさとに学び、夢や希望を抱き、ふるさと香美を大切に」子どもの育成を目的として下記の事業を実施した。 ・ふるさと教育交流会 170人 ・ふるさと語り部講座 5回 125人 新型コロナウイルス感染症の流行により、ふるさと教育交流会では、ふるさと給食取組展を中止するなど、規模を縮小し開催したが、地元企業など多様な発表が行われ、教職員・保護者等の参加者の好評を得た。また、ふるさと語り部講座では、下浜地区の歴史講座、猿尾滝について学ぶなど地域の教育資源について学ぶ機会を提供し、住民の地域理解を深めることができた。	ふるさと教育交流会での多様な団体や各世代間での提言を、より多くの住民に情報共有することが必要である。次回交流会では内容をアップデートするとともに住民への情報共有を図っていく。また、ふるさと語り部講座では、ふるさと物知り博士など地域人材の活用を図り、地域全体でふるさと教育を推進していく体制を構築していく。
具体的な施策② 集落機能の維持【継続】			
・祭りなどの伝統行事や文化、高齢者の孤立、集落の環境や景観など、住んでいる集落の暮らしの営みを点検し、問題点や課題を明確にし、解決策を考える「集落点検、集落計画づくり」への支援 7 - 1 - 8 企画課	地域コミュニティ活性化事業費	事業未実施	地域コミュニティ組織が地域の現状や特徴を把握し、持続可能な運営を続けるための「集落点検・集落計画づくり」を実施できるよう、アドバイザーの派遣制度や県・町の補助制度等を活用した取り組みを推進していく。
・既存集落は維持した上で、他の集落との連携や道路・水路の共同作業などの相互扶助の推進 7 - 1 - 8 企画課	地域コミュニティ活性化事業費	集落支援員及びまちづくり協議会活動助成金を活用した支援を通じ、各地域での取り組みを推進した。 まちづくり協議会活動助成金 1,595千円	集落間の連携や相互扶助について引き続き、推進していく。
・転出者（地域出身者）などへのふるさとでの地域づくりへの参加促進や外家族として地域への関わりを促進するSNS活用などによる情報発信と取り組みの支援 7 - 1 - 8 企画課	地域コミュニティ活性化事業費	イベントの開催やホームページの作成等、地域内外に向けた情報発信に取り組むまちづくり協議会に対し、側面的な支援を行った。 まちづくり協議会活動助成金 1,595千円	SNSや広報等を活用した情報発信に対して引き続き支援を行い、転出者（地域出身者）や移住者等の地域活動への参加を推進していく。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所					1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			

■施策の柱2 安全・安心な暮らしづくり

具体的な施策① いつまでも健康で安心して暮らせる地域づくり【継続】

・共助・助け合いを旨とする自治会・ボランティア等の支援体制の整備 3 - 1 - 1 福祉課	社会福祉協議会費	地域福祉の担い手であり推進者である香美町社会福祉協議会を支援するため、同協議会の非採算部門である次の事業に対して補助を行った。新型コロナウイルス感染症の影響がある中、地域における公益的な取り組みを実施することができた。 社会福祉協議会補助金 42,952 千円 事務局10人分の人件費、法律相談などの費用 町ボランティア活動支援事業補助金 3,100 千円 コーディネーター2人分の人件費、ボランティア育成に係る経費	将来にわたり福祉サービスを安定的・継続的に提供していく必要があることから、福祉人材の確保及び育成を重点に取り組んでいただくために、今後も補助を行う。
・医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築 3 - 2 - 1 【特別会計】福祉課	一般介護予防事業費	従来のリハビリ専門職に加え、民間のリハビリ専門職とも委託契約を結び、介護予防の取組に対し多面的にアドバイスを受け、機能強化に役立てることができた。	効果的な介護予防事業の実施ができるよう引き続き地域のリハビリ専門職の派遣を確保し、介護予防の取り組み強化を行う。
・医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築 3 - 3 - 4 【特別会計】福祉課	在宅医療・介護連携推進事業	医療・介護従事者が、多職種協働で在宅医療と介護を一体的に提供できる「地域包括ケア体制の構築」を推進した。 ・ 美方郡在宅医療 ・ 介護連携推進事業の更なる展開 ・ 町内公立病院と連携体制構築を更に推進 他	引き続き医療・介護従事者が、多職種協働で在宅医療と介護を一体的に提供できるよう連携を進める。
・医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築 3 - 3 - 5 【特別会計】福祉課	生活支援体制整備事業	元気体操サークルやいきいきサロンなどの集いの場に訪問し、支援を行った。多様な生活ニーズに対応していくため、地域の移動販売などの社会資源の情報を収集し、各関係機関との連携を図ることができた。	地域課題の一つである、買い物についてアンケート調査を実施し、関係機関と協議を進めていく。引き続き、住民主体の集い場の活性化を図っていく。
・医療や買い物以外でも気軽に集える施設・場所（サロン）の設置促進 3 - 2 - 1 【特別会計】福祉課	一般介護予防事業費	元気体操サークルは新規2箇所発足と継続支援、いきいきサロンは継続支援を行い、地域の介護予防活動を進めることができた。	引き続き、地域の介護予防活動の拠点づくりを推進し、発足・継続支援を行う。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所					1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
・健康づくりへの動機付けや運動習慣の定着を促すことをめざす「健幸ポイント制度」の拡充とポイント活用の充実・促進 4 - 1 - 2 健康課	健康増進事業	健康づくりへの動機付けと運動習慣の定着促進を行うため、4月1日から2月28日までの11ヶ月間をポイント付与期間として実施し、溜まったポイントに応じて健康商品等に交換した。 ・参加者 851人（前年比：220人増） ・交換率 61.6% 参加前より運動をするようになった人は299人（57.1%）おり、「ポイント交換が楽しみで運動を続けることができ、今では習慣になった」などの声がある。 健康ポイント報償費 1,101千円	R4年度はBMI肥満の方が体重の改善があった場合、特定保健指導に参加した場合はポイントを追加で付与することとし、さらに健康づくりの促進を目指す。
・ICT（情報通信技術）やAIの医療・福祉への活用及び生活利便性向上への調査研究 - - 福祉課・福祉課	在宅医療・介護連携推進事業 情報通信を活用した医療・介護連携「香美リンク(仮)」	美方郡医療介護連携推進事業において、システム理解のための学習会を開催する予定であったが、コロナ禍で叶わず未実施となった。代替として香美町ケアマネ連絡会にて研修会を行った。	医療・介護圏域である但馬管内及び鳥取県東部の動向を注視し、歩調を合わせながら進めていく。
・ICT（情報通信技術）やAIの医療・福祉への活用及び生活利便性向上への調査研究 - - 健康課	在宅医療・介護連携推進事業 情報通信を活用した医療・介護連携「香美リンク(仮)」	【R3年度未実施】	ICT（情報通信技術）やAIの医療・福祉への活用及び生活利便性向上への調査研究の参画に向けた検討を行う。
・一次医療体制の確保及び周辺地域と連携した二次医療体制の充実 4 - 1 - 1 健康課	地域医療対策費 公立八鹿病院組合負担金事業費	医師招へい及びドクターカー運航事業等の実施 ・ドクターカー出動件数 294件/2,535件 6,688千円 公立八鹿病院・公立村岡病院の運営費負担 141,942千円	引き続き、一次医療体制の確保及び周辺地域と連携した二次医療体制の充実を図るため事業を実施する。
・一次医療体制の確保及び周辺地域と連携した二次医療体制の充実 - - 【特別会計】健康課	国民健康保険各診療所の運営	へき地診療所の運営による一次医療体制の確保を行った。 佐津診療所 36,372千円 診療日数 143日 延患者数 1,282人 兔塚・川会診療所 28,747千円 診療日数 189日 延患者数 866人 小代診療所 141,895千円 診療日数 233日 延患者数 1,411人 兔塚・川会歯科診療所 72,775千円 診療日数 227日 延患者数 6,793人	医師の高齢化、医師不足などによる医師確保及び安定した医療体制の維持継続が課題となっているため、地域の実情を分析しながら、引き続き一次医療体制の確保及び周辺地域と連携した二次医療体制の充実を図り安定した医療体制の維持継続に努める。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所					1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
<p>・一次医療体制の確保及び周辺地域と連携した二次医療体制の充実</p> <p>予算区分 / 所管 - - 香住病院</p>	公立香住病院事業の運営	<p>医療・福祉・介護の連携を図り、公的医療機関の役割を果たした。令和3年度は、5月に精神科、10月に胃腸科を新たに開設した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院 患者数 入院 12,050人 外来 38,265人 ・ 介護老人保健施設 利用者数 入所 15,096人 通所 274人 ・ 訪問看護ステーション 利用者数 3,068人 ・ 委託介護支援事業所 利用者数 598人 	引き続き事業を実施する。
<p>・防災マップなど、新技術導入による防災、減災体制の構築と地域防災力の強化</p> <p>9 - 1 - 4 防災安全課</p>	災害対策関係諸事業	<p>香美町防災ハンドブックを更新し、全世帯に配布した。今回より、冊子形式からファイル形式にしたことで、差し替えを可能とし、タイムリーに最新情報を提供できるようになった。また、書類の量に合わせて背幅が変更されるフラットファイルにしたことで、今後の配布物も一括保管できるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A4 56頁 6,500部 背表紙裁断 2穴綴じ 防災ハンドブック作成委託料 2,948千円 	積極的に最新の防災情報をタイムリーに発信し、香美町ハザードマップとともに、平時からの活用を促し、防災・減災意識の向上を図る。
具体的な施策② 交通弱者対策の推進【継続】			
<p>・公共交通の幹線の維持と周辺集落から市街地への支線におけるデマンド運行の導入</p> <p>2 - 1 - 7 企画課</p>	町民バス運営事業費	<p>令和2年10月より新たな体系による町民バスの運行を開始し、奥佐津線及び余部線においてデマンド運行を導入した。また、小代線においてデマンド型実証運行を実施した。</p> <p>実証運行期間：令和4年2月21日から3月18日の平日19日間 利用者数：41人（実利用者数11人）</p> <p>予約システム借上料 1,596千円 奥佐津線余部線運行委託料 4,345千円</p>	デマンド運行のメリットを活かしながら、利便性の向上を図るとともに、奥佐津線及び余部線のさらなる利便性向上に向けた運行体系を検討する。また、小代区内において、運行時間帯や便数を中心に令和3年度に実施した実証運行とは条件を変更した形で再度実証運行を行い、小代区における最適な交通体系を検討する。
<p>・地域内で自家用車を使用した移動手段の確保と支援</p> <p>- - 企画課</p>	-	<p>射添地区まちづくり協議会（担当者）に対し、NPO法人等による自家用有償運送の導入条件や検討事項、課題等について助言を行った。</p>	町内におけるまちづくり協議会の設置状況を勘案しながら、まちづくり協議会による自家用有償運送やボランティア移動サービスの導入についての検討を進める。

令和3年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所					1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
・次世代移動サービス (MaaS)導入のための調査研究 2 - 1 - 7 企画課	町民バス運営事業費	利用予約や最適経路検索システムをはじめとしたAIを導入した予約システムを活用し、小代区内においてデマンド型実証運行を実施した。 予約システム借上料 1,596 千円	運行時間帯や便数を中心に令和3年度に実施した実証運行とは条件を変更し、AIを導入した予約システムを活用した再度実証運行を行い、現在デマンド型運行を行っている奥佐津線及び余部線への導入の可否を検討する。
■施策の柱3 持続可能な地域づくり			
具体的な施策① 既存ストックのマネジメント強化ー「つくる時代」から「活かし・つかう時代」へー【継続】			
・公共施設等総合管理計画の推進 2 - 1 - 6 総務課	(目) 財産管理費 一般経常費	老朽化した公共施設の改修や更新、人口減少による公共施設の統廃合等を計画的・効率的に行い財政負担の軽減を図るため、H28年度に公共施設等総合管理計画を策定、H29～R2に個別施設計画を策定した。公共施設等総合管理計画策定から5年経過し、R3年度に見直しを計画。R4年度に改訂を完成させる。 公共施設等総合管理計画の改定業務委託料 R4に繰越 システム運用保守委託料 330 千円 システム利用料 792 千円	令和4年度に公共施設等総合管理計画、個別施設計画の改訂を完成させ、以後毎年のフォローアップと5年毎の見直しを行い、計画的な公共施設の管理を行う。
具体的な施策② 再生可能エネルギーの利活用【継続】			
・木質バイオマス、太陽光、雪氷熱などの自然(再生可能)エネルギーの利用の促進 - - 企画課	-	地球温暖化対策を推進し、一般家庭への再生可能エネルギー設備の導入促進方法や町有施設への再生可能エネルギー設備の導入について検討を進めた。	第2次総合計画に基づき、地球温暖化対策の推進等による低炭素社会の構築推進とあわせ、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進する。
・木質バイオマス、太陽光、雪氷熱などの自然(再生可能)エネルギーの利用の促進 6 - 2 - 2 農林水産課	森林環境経営管理事業費	チップ材加工については、香美町バイオマスセンターを拠点として安定的な運営がなされているほか、木の駅プロジェクトも順調に出荷量が増加している。	チップ材加工及び木の駅プロジェクトについては継続して安定運営に努める。
・安全で新鮮な食糧の地域内生産・消費の促進 6 - 1 - 3 農林水産課	畜産振興対策事業費 水産振興事業費	但馬牛の牛ふん堆肥など有機肥料による安全安心な農産物の生産を推進した他、道の駅での販売拡大、児童生徒への「ふるさと給食」材料として新鮮な地域内生産物の提供を行った。 ふるさと給食材料 但馬牛牛肉 599 千円 水産物 1,177 千円	引き続き、地域内生産物の普及推進と消費喚起を継続して行う。